

オランダ自転車市況-2008年

1. 全般的販売状況－不況の影響は限定的

RAI(オランダ車輛工業会)及びBOVAG(オランダ自動車自転車商業組合)によると、2008年オランダ市場の自転車の新車販売台数は前年比約0.9%減の139万台となり、2008年後半の経済不況の影響は限定的で、ごく僅かの減少に止まったとしている。

表1: 自転車販売及び生産台数 (単位:千台)

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
新車販売台数	1,324	1,219	1,250	1,239	1,323	1,400	1,388
国内生産台数	1,082	1,045	882	897	968	972	*

*現在未集計

2008年の平均販売価格については、自転車販売業全体の平均価格は前年比14%増の688EURO(92,880円)となり、自転車小売専門店は前年比10%増の780EURO(105,300円)に達し、両平均価格とも2005年以降、金額は上昇している。特に2008年は「全体」の価格上昇率は「自転車小売専門店」の同率を上回っており、これら好調の要因は電動アシスト車販売増によると見ている。

表2: 平均販売価格 (単位:EURO)

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
全体	557	552	584	579	582	603	688
自転車小売専門店	596	596	677	677	678	709	780

2. 業態別販売状況

業態別売上比率では、自転車小売専門店がシェアを前年より7%増やし全体の8割を占めるまでになった。一方で量販店やスーパーなどのシェアは2割を割りこみ、両者の差は2008年になって一段と開いた。オランダ消費者の多くは、自転車の品質、サービスやアドバイスを求めて自転車小売専門店で購入を希望する傾向がある。特に販売好調の電動アシスト車についてはその傾向が一層強く、他種より高価な同車種では消費者は廉価な輸入車ではなく高品質の自国ブランド車を選ぶ傾向が依然として続いているものと見られる。

表 3：業態別売上比率

販売形態	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年
自転車小売専門店	78%	77%	78%	74%	81%
量販店、スーパーなど	22%	23%	22%	26%	19%

3. 価格帯別売上状況

価格帯別売上では、過去5年間シェア3割以上を占めていた300ユーロ以下の価格帯は27%と3割を切るまで減少し、301~499ユーロの価格帯(40,635~67,365円)は横ばいであることから低価格帯売上は伸び悩み、中価格帯である500~699ユーロ(67,500~94,365円)が15%と前年より2%増え、更に最高額帯の900EURO(139,500円)以上も16%と2%増加、次いで700~899ユーロ(94,500~121,365円)の価格帯はシェア25%を堅持している。価格帯別売上比率で見ても販売価格は全体的に上昇したといえる。

表 4：価格帯別売上比率

価格帯(EURO)	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年
300以下	22%	34%	32%	31%	30%	31%	27%
301~499	21%	18%	15%	20%	20%	17%	17%
500~699	21%	16%	16%	13%	19%	13%	15%
700~899	20%	22%	26%	25%	20%	25%	25%
900以上	9%	10%	12%	11%	11%	14%	16%
不明	7%						

4. 新車と中古車の売上比率

新車と中古車の年間売上比率は、2008年も昨年と同比率となった。小売店に対し中古車売買件数を2003年から調査しており、その結果得られた数値である。

表 5：新車・中古車別の市場占有率（単位：千台）

	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年
新車	70%	67%	68%	69%	70%	70%
台数	1,219	1,250	1,239	1,323	1,400	1,388
中古車	30%	33%	32%	31%	30%	30%
台数	522	616	583	594	600	595

5. 車種別販売状況

車種別では、昨年は6割を占めた一般用自転車は一転して前年より4%もシェアを減らし56%となった。一方で過去3年間減少し続けたうえ、昨年5%もシェアを減じたハイブリッド車は13%のシェアとなり、前年より3%増加し復調傾向を示した。マウンテンバイクは前

年と同じ3%に止まり、子供車は前年より3%シェアを減らした。また、電動アシスト自転車の2008年のシェアは10%にまで達した。

表 6: 車種別売上比率

車種	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
一般用自転車	56%	57%	52%	54%	59%	60%	56%
ハイブリッド車	16%	15%	17%	17%	15%	10%	13%
マウンテンバイク	6%	6%	6%	5%	4%	3%	3%
子供車	18%	17%	18%	17%	15%	17%	14%
電動アシスト自転車			2%	3%	3%	6%	10%
その他	4%	5%	5%	4%	4%	4%	4%

オランダの自転車保有台数は1,800万台(2008年現在)を数え、自転車利用者の46%が通勤・通学に利用しているとされるが、オランダの伝統的な自転車であるダッチバイクを含む一般用自転車からハイブリッド車や電動アシスト車といった、より長距離走行に適した車種に人気に移りつつあり、自転車利用機会と移動距離の増加がこれを後押ししているものとRAI担当者は説明する。

6. 電動アシスト自転車について

電動アシスト自転車については、年初の販売予想12万台を超える、前年比57%増の約14万台となった。その販売好調と併せて販売平均価格も上昇したとみられている。オランダにおいてもスーパーマーケット等の量販では電動アシスト車は1,000ユーロ(135,000円)以下のものが販売されている。国内のディスカウンターでは700ユーロ(94,500円)という廉価車も見られるが、オランダの消費者は高品質のものの購入を希望する傾向にあり、販売の主力は主に国内の有カブランド製品と見られ、2008年電動アシスト車の平均販売価格は1,900ユーロ(256,500円)にも及ぶとRAIは推計している。電動アシスト車の有力ブランドであるアクセルグループのスパルタ、バタバス及びコガ・ミヤタ、カゼレ、台湾のジャイアントなどが引き続き市場の牽引役を勤め、高級ブランドと安価なものの二極化がますます進むものと見られる。

表 7: 電動アシスト自転車販売台数 (単位:台)

	2005年	2006年	2007年	2008年
電動アシスト車販売台数	34,000	45,000	89,000	140,000

7. 2009年も好調維持を期待

2009年の市場の先行きについては、年初の寒冷な天候により出だしが遅れ、一般自転車の販売は鈍るかもしれないが、それらの落ち込みを付加価値の高い電動アシスト自転車で補えるとの希望的観測により、同国市場の急激な落ち込みは今のところ考えにくいとRAI担当者

は述べている。

以 上

統計出所： RAI、BOVAG

(デュッセルドルフ事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。